



日立一高ラグビー部OB・OG会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>

(フェイスブックグループ「日立一高ラグビー部」も開設)

日立一高ラグビー部創部80周年記念事業 特集号

今号は、令和7年9月14日(日)に実施した「日立一高ラグビー部創部80周年記念事業 特集号」としてお送りします。掲載項目や内容が、これまでの会報とは一部異なっていますので、ご了承ください。

○記念式典 式辞

日立一高ラグビー部OB・OG会長 黒沢 祐士

まだ残暑が残ってはいるものの、秋の気配を感じるようになった今日の良き日に、茨城県議会議員 高安博明様、日立一高校長 細貝雅之様をはじめ、多くのご来賓の方々、OB・OG会の皆様、現役高校生・保護者の皆様のご出席を賜り、日立一高ラグビー部創部80周年記念試合並びに記念式典を盛大に挙行できますこと、心より御礼申し上げます。

言うまでもなく日立一高ラグビー部は、本県初の高校ラグビー部として呱呱の声をあげ創部80周年を迎えました。

これまで、80年の歴史が続けられたのも、ご指導いただいた監督、OB・OGの皆様、関係の皆様のおかげと感謝申し上げます。

さて、この事業を進めていて感じたことは、日立一高ラグビー部は、私たちの「原点」であり「誇り」であるということです。中学・高校という若い限られた期間に、共通の目標のために力を尽くしてきたからこそ生まれる強い絆！ラグビーというスポーツを通して、得たこと、感じたことが、その後の人生に大きく関わっているということも分かりました。

日立一高ラグビーの精神は、脈々と受け継がれてきています。さらに、この80周年記念事業が交友を深め、世代のつながりをつくり、日立一高ラグビー部が90年、100年と続くようにしていきたいと思っています。

そこでお願いが一つあります。ラグビーの精神を私生活の中で、是非、繰り広げていただきたいのです。ラグビーの精神といっても、いろいろありますよね？「No sideの精神」「最後まであきらめない心」「One for allの精神」、どれか一つで、そんなに大げさなことでなくていいんです。「困っている人がいたら手をかしてあげる」「悩んでいる人がいたら、一緒に考えてあげる」「人がいやがる仕事をちょっとやってあげる」ラグビーを知らない人がそんな姿を見たら、ラグビーする人って、素晴らしいんだなって思ってくれるのではないのでしょうか？

少しでもラグビーを理解してくれる人が増えたら、ラグビーの世界が広がるんじゃないかと思っています。それが、次の90年、100年につながるんじゃないかと思っています。ラグビーの精神を世界に広げましょう！

結びになりますが、皆様にはこれまで 日立一高ラグビー部活動にご理解をいただき、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、私



○記念式典 祝辞

日立第一高等学校・附属中学校 校長 細貝 雅之 様

皆さんこんにちは。ただ今ご紹介いただきました、日立第一高等学校並びに附属中学校校長の細貝雅之です。

本日の、日立一高ラグビー部創部80周年記念式典そして祝賀会、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。また、このような晴れの席にお招き頂き、誠にありがとうございます。

午前中には、記念招待試合を観戦させていただきました。生徒たちの試合は、最後まであきらめずにボールを追う姿にすがすがしさを感じるとともに、今後に大きな期待の持てる戦いでありました。また、レジェンドOBの皆様の試合は、生徒たちに勝るとも劣らぬ走りっぷりで、ラグビーを心から愛し、楽しんでおられることが伝わり、大変感銘を受けました。



さて、本校のラグビー部ですが、皆様ご存じのように、戦後間もない昭和21年に誕生しました。物資も練習環境も整わない中、部員の熱意と努力、そして周囲の皆様のご指導とご支援により、創部11年目の昭和32年には県内大会で初優勝を果たしています。そしてその後は、本校運動部のパイオニア、牽引車として、県内公式戦111連勝という金字塔を打ち立てるなど、輝かしい歴史を刻んで参りました。その活動を通じて、多くの生徒たちが素晴らしい仲間を得るとともに人間的な成長をとげ、各界のリーダーとして活躍されていることは、本校教職員、在校生の誇りとするところです。

本校は、平成24年に県内最初の県立附属中学校が開校し、中高一貫教育校に生まれ変わりました。また、グローバル化等の激しい変化に対応するため、サイエンス科が設置され、現在「高い志・科学する心・未来を拓く力」の教育理念の下、「国際教育」「科学教育」を柱に教育に取り組んでおりますが、そういった中でも、「文武両道」という本校の伝統は、大切にしていきたいと考えております。部活動を通じて、時にはぶつかることもある、うまくいかないこともある中で切磋琢磨したくましく成長する。そして、社会に出て自分の夢を叶えるとともに、社会に貢献できる人材を育成したいと考えております。

昭和、平成、令和と時代は変わりましたが、本校のグラウンドでボールを追う生徒のひたむきさや熱意は変わることなく、ラグビー部の輝かしい歴史はこれからも刻まれていくものと期待しております。

最後になりましたが、これまで本校ラグビー部を支えていただいた関係者の皆様に心からお礼申し上げますとともに、本日ここに集われた皆様のますますのご活躍を祈念申し上げて、簡単ではございますが、祝辞とさせていただきます。

本日は本当におめでとうございます。

○記念招待試合

令和7年9月14日(日) 日立市会瀬スポーツ広場(旧：会瀬グラウンド)

第1試合	9:30~10:20	【高校生】	太田第一高等学校	対	日立第一高等学校
			前半	26 - 5	
			後半	10 - 7	
			計	36 - 12	

第2試合	10:30~12:00	【OB】	磐城高等学校OB	対	日立第一高等学校
	Over 40	(レジェンド)	12 - 14		
	"	(ミドル)	7 - 27		
	Under 39	(ヤング)	0 - 17		

vs. 茨城県立太田第一高等学校ラグビー部

太田一高ラグビー部は昨年春までは公式戦に本校と合同チームでエントリーしており、関東大会本大会にも磯原郷英高校との3校合同チームで出場を果たすなど、本校とは深い関わりと交流のあるチームです。

近年では附属中ラグビー部も設置され、中高一貫の継続的な指導や小中学校での経験者を有し、チーム力が充実しています。

対する日立一高は怪我人が出ていることもあり、キックオフ直後から14人での戦いとなりました。

最初からノーホイットライを奪われるなど、ホストチームとしての緊張もあったのか、前半の前半はトライを連取され苦しい戦いとなりましたが、徐々に試合が落ち着いてくると自分たちのプレイで流れを引き寄せ、リズムをつかんでボールを動かし始めました。セットプレイでも圧力をかけ、後半はほぼ互角の戦い、全国大会県予選を前にして、素晴らしい実戦経験を積むことができました。

vs. 福島県立磐城高等学校ラグビー部OBチーム

磐城高校は福島県有数の進学校であるだけでなく、全国大会(花園)に過去18回出場するなど、東北の雄としてその名を馳せていますが、過去には日立一高での夏合宿に参加し切磋琢磨した歴史もあり、40~50歳代のOBにとっては思い出深いチームです。

今回も「滑川先生(当時監督)は来っていないんですか?」と多くの中高年の方から尋ねられるほど、「日立一高」と「滑川先生」は、当時の磐城高校生にとって思い出深い名前であったようです。

芝のグラウンドなど想像もできないカチコチの日立一高の校庭で、早朝5時から走り回った思い出は、きっと青春の1ページとなっているのでしょう。

試合は、40歳以上の「レジェンド」・「ミドル」と、概ね39歳未満の「ヤング」の3チームを編成し、20分1ラウンドずつを行いました。(暑さ対策のため午前中に設定し、20分の中でも3回程度ウォーターブレイクを

入れましたが、それでも相当に過酷な条件でした。)

試合は、3ラウンドとも日立一高が花を持たせていただきましたが、随所に往年の切れ味と迫力ある突進、激しいタックルの応酬など、観客が「おおっ」とどよめくようなプレイが続出していました。



○記念式典・祝賀会

令和7年9月14日(日) 午後3時から ホテル天地閣

参加者はOB・OGが111人、来賓14人、部員・マネージャー19人、保護者13人に報道関係者などを加えた約160人。厳粛な中にも和やか・賑やかに開催されました。

開式前には、黒沢会長からの発議で、これまでの組織名「OB会」を「OB・OG会」に改めることを提案し、満場一致で承認されました。

記念式典では、木下幹事長からOB・OG会の現状や記念事業実施に至る経過等を交えた「開会の辞」、OB・OG会長挨拶(式辞)、来賓挨拶(学校長、石川前衆議院議員、高安県議会議員)、来賓紹介、OB・OG会から尾又篤前OB会長(現顧問)への感謝状贈呈と謝辞、OB・OG会から現役部員への記念品贈呈と謝辞が粛々と執り行われました。(来賓は、ご挨拶をいただいた方以外にも日立・水戸日立ラグビースクール両校長、磐城高校OB会長・同顧問、太田一高ラグビー部OB会長・同部顧問、ラグビー部歴代監督など多くの方にご出席いただきました。)

祝賀会では恒例の「鏡割り」に始まり、山本副会長の音頭で乾杯、しばし歓談、歴代監督紹介と代表スピーチ、卒業年代ごとに壇上に上がっての代表スピーチ、記念誌部会による記念誌紹介などなど

久しぶりに・場合によっては卒業以来初めて合わせる懐かしい顔・顔・顔……話は尽きませんが部歌斉唱と益子副会長の万歳三唱でお開きとなりました。



○記念誌「この10年の歩み」発行

今回は、若手・中堅OBが知恵を捻り工夫を凝らして、これまでとは一味違った記念誌を作成しました。

自らの現役時代を振り返ってもらうとともに、若手OBや現役部員たちに諸先輩たちの「想い」を感じてもらおうと企画したアンケートでは、92人の方から寄せられた膨大なデータを分類、整理してくれました。OBならではの「あるある」感が満載だと思います。

また、今回は過去15年間のマネージャーOGを招いて令和7年の戦い初めの日に「マネージャー座談会」を実施、OGたちのラグビーや練習・試合に向けての取組や熱い思いなどが語られ、企画主催したメンバーからは「目からウロコだった」「真摯にラグビー部の活動に向き合ったマネージャーたちの想いに胸を打たれた」などの感想が寄せられました。筆者がながながと綴るよりも、まずは記念誌をご一読ください。

他にも、各年代の代表に思い出を語っていただくページを中心にカラー写真をふんだんに掲載したり、過去10年間(実質9年間)の若手OB・OGには、各学年2~3人に寄稿していただいたり、より多くの方々に関わってもらって、記念誌が出来上がりました。

記念式典欠席者には、10月上旬に郵送していますので、お手元に届かないときは事務局までご一報ください。

○令和6年度終盤～令和7年度前半を振り返って

令和6年度全国大会茨城県予選 堀原運動公園競技場

【1回戦】10月5日(土) vs. 下妻一高 13-14 (前半 5-0 後半 8-14)

今年度も、部員不足により新人戦から合同チームでの出場が続き、春シーズンが終わった時点で3年生:3人、2年生:5人、1年生:3人と部員は11人。部員と指導者が何度も話し合った結果、単独での出場を決意!附属中ラグビー経験者、バスケットボール部・テニス部・サッカー部等から「助っ人」を集め総勢20人で大会に臨みました。

1回戦、前半から後半の中盤まではブランどおりにFW周辺にボールを集めてリードしましたが、最後は下妻一高のBKへの展開やキック等によりディフェンス網を乱され逆転を喫しました。

敗れはしましたが、単独チーム出場を目指す過程での取組は、部員たちにとって得難い体験となったことでしょう。



新人戦 会瀬スポーツ広場・水戸ツインフィールド・ト伝の郷運動公園

【1回戦】 1月6日(月) vs. 合同C 61-0 (前半 28-0 後半 33-0)

※合同C: 取手一、牛久、下館二、下館工、下妻一、守谷

【2回戦】 1月12日(日) vs. 東洋大牛久 7-43 (前半 0-10 後半 7-33)

【5位決定戦】 1月18日(土) vs. 勝田工高 64-14 (前半 33-14 後半 31-0)

令和6年度茨城県高校ラグビー新人大会は、日立一高は磯原郷英、勝田、水戸一、水戸農との5校による合同Aチームでエントリーし、5位入賞を果たしました。



関東高校合同チーム大会 栃木県総合運動公園ラグビー場

3月15日(土) ×茨城 5-10 神奈川 ○茨城 29-0 山梨 ※Bブロック3位

16日(日) △茨城 17-17 千葉 (Aブロック3位)

この大会は、各都県の新人戦で3位以下となったチームから選抜された合同チームが出場するものです。

日立一高から、田山(2年)、西野(2年)、高山(2年)、堀川(2年)、佐藤(2年)、栗原(1年)の6人が茨城県代表として選抜され、大会に出場しました。



関東大会県予選 水戸農高グラウンド・水戸ツインフィールド・ト伝の郷運動公園

【1回戦】	4月19日(土)	vs. 合同C	47-10 (前半 33-5 後半 14-5)
※合同C: 土浦工・取手一・牛久・下館二・下館工・下妻一・守谷			
【準々決勝】	4月25日(金)	vs. 太田一	31-0 (前半 17-0 後半 14-0)
【準決勝】	5月6日(火・振)	vs. 茗溪学園	0-113 (前半 0-56 後半 0-57)
【3位決定戦】	5月13日(火)	vs. 清真学園	3-54 (前半 0-33 後半 3-21)

茗溪学園には大敗したものの4位入賞。この大会を通して、チームとしての戦い方には大きな成長が見られました。今後は、容易な道のりではありませんが、日立一高は部員15人で単独チームとして秋の大会に臨みます。

**全国7人制大会県予選** 水戸ツインフィールド

6月14日(土)	1回戦	vs. 合同B	○38-5	1年生もデビューし、これからが楽しみな活躍
	2回戦	vs. 東洋大牛久	×5-22	目標としてきたベスト4には惜しくも届かず
15日(日)	順位戦1回戦	vs. 太田一	×0-47	自分たちのプレイができず、悔しい敗戦
	7位決定戦	vs. 合同A	○22-0	新人戦から共に戦ってきた仲間たちとの対戦

今シーズン初めての単独チームとして出場し結果は7位

「全国大会予選に単独チームで出場」という目標に向けてあと3か月半、部員15人のチャレンジは続きます。

**○ 新春恒例の「蹴り初め」を開催!!**

令和7年1月3日(金) 午前9時過ぎから日立一高グラウンドにおいて、新春恒例の「蹴り初め」を開催しました。

例年は天候に恵まれるのですが、今年は曇り空で寒さが厳しかったこともあり、ここ数年の中では珍しく参加者が少ない蹴り初めとなりました。

それでも、最終的にはOB50人超、OG11人、現役部員8人、保護者等を含めると約80人の関係者が参加し新春を祝うとともに現役部員を激励しました。

なお、年末からインフルエンザが猛威を奮い、現役部員にも罹患者がいたこと、3日後の1月6日(月)に新人戦の第1戦を控えていること等を考慮して、今回は残念ながら現役とOBの試合やタッチフット等による交流は断念し、ウォーミングアップの後はOB同士の試合のみを行いました。

冒頭の年頭挨拶では、黒沢会長と廣瀬監督からご挨拶をいただき併せて昨年3月末に水戸二高に異動した照沼先生や、昨年マスコミへの露出度の高かった日大スポーツ科学部長のOB益子さんの紹介等を行いました。(高島先生は花園での東西対抗に出場する飯村前主将の引率のため不在)

その後は、若手OBと中堅OBでチームを編成して前後半の試合を行い、新年早々白熱した戦いが繰り広げられました。



○ 令和7年度の夏合宿を“菅平”で開催

令和7年8月4日(月)～7日(日)、恒例の菅平合宿を磯原郷英高校と合同で3泊4日で実施
OB会からは黒沢会長と益子副会長が激励のために駆けつけ、併せて差入れ等を行ってきました。
4日間を通して部員たちはひと回り大きく・逞しく成長したようです。
ともに合宿を行った磯原郷英高校の皆さん、ホテル朝日の皆さん、ありがとうございました。

4日(月) 午後は練習のみ。基本プレーの確認を行うとともに、後半はフィジカル系のトレーニングも行いました。

5日(火) 午前中は練習を行い、午後はいよいよ練習試合。

群馬県の樹徳高校と対戦、1年生もメンバー入りして奮闘し、チーム一丸となって試合ができました。

vs. 樹徳 1ラウンド目: X7-19 2ラウンド目: X0-19 3ラウンド目: O21-0

6日(水) 午前は千葉南高校、午後は埼玉県栗橋北斎高校・合同と練習試合。千葉南高校さんとは毎年のように試合を組んでおり、同じ公立高校として刺激をもらっています。そして夜はBBQ

vs. 千葉南 1ラウンド目: X0-26 2ラウンド目: O36-0

vs. 栗橋北斎・合同 1ラウンド目: X5-12 2ラウンド目: O7-5

7日(木) 最終日はあいにくの大雨で試合は中止。



○ 父母の会だより

父母の会会長 西野 孝さん(西野 遼くん(3年)の父)

日頃より、先生方やコーチ、日立一高ラグビー部OB・OG会の皆様方には、大変お世話になっております。この場を借りて御礼を申し上げます。

さて、田山キャプテンを中心とする「田山組」は選手8名(3年生5名・2年生3名)、マネージャー3名でスタートしました。合同チームとして参加した新人戦や関東大会予選では、茗溪学園や清真学園、東洋大牛久高など格上のチームと対戦し、敗れはしたものの中心メンバーとしてチームを牽引していたのが印象に残っています。

また、3年生を中心に都県対抗戦や関東高校合同チーム大会にも出場し他県チームとの交流を経験したところです。一方、「黒ジャージ」を身にまとい、単独チームでの大会出場を果たすべく部員獲得に奔走した結果、1年生8名(選手7名、マネージャー1名)が入部しました。間もなく始まる全国大会予選では1年生の活躍とともに、それに負けないよう2・3年生の奮起にも大いに期待しているところです。

さらに、こうした日々の練習や試合以外にも、ラグビーを通じて地元の幼稚園生や小学生と交流を図り、一高ラグビー部のPRを行う広報マンとして、地域に根差したチーム作りにも取り組んでいます。

昨今の少子化の影響等により一高ラグビー部を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、こうした中でも懸命に部活動に取り組んでいる子供たちには、試合の勝ち負け以上に、ラグビーを通じて責任感や協調性、忍耐力、コミュニケーション能力など、いわゆる「人間力」を高めていって欲しいと考えています。

父母の会としては、試合当日に、子供たち一人ひとりが持つ力を最大限に発揮できるよう、あらゆる面でサポートしていきたいと考えております。

OB・OG会の皆様におかれましては、今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



【後列の向かって右端が西野さん】

○ 「学年幹事会」を開催しました

令和7年8月30日（土）午後5時30分から「まんぼう」において、令和7年度の学年幹事会を開催しました。学年幹事の出席は19人、委任状提出者が43人、下記の案件について決議されました。

- 【案件】 1 令和6年度事業報告及び決算について 原案承認
 2 令和7年度事業計画及び予算（案）について 原案承認
 3 ラグビー部OB会の名称変更について
 事務局の例示した中から「日立一高ラグビー部OB・OG会」を学年幹事会案として採択し、9月14日（日）の記念式典の中でOB・OGに公表し、賛同を得ることとした。

1 令和6年度 事業報告及び決算について

- (1) 部員の活動状況（KOBELCOCUPや合同チーム東西対抗戦への選手出場、附属中ラグビー部の休部等）
 (2) OB間の親睦行事（蹴り初め、ゴルフコンペ、茗溪・清真OBとの交流試合等）
 (3) 部員の練習環境向上（会瀬スポーツ広場を平日も使用：使用料の一部補助等）
 (4) 創部80周年記念事業の準備状況 等

【支出の部】

（単位：千円）

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	50	43	-7	参加者負担の懇親会費を除く
2) OB会報発行	190	217	+27	第27号 10月に郵送料が値上げ
3) 大会参加への資金援助	135	135	±0	30,000円×4大会+プログラム協賛
4) 夏合宿への資金援助	50	70	±20	中学生分も20,000円補助
5) 夏合宿へのOB派遣補助	35	23	-12	参加人数・日数の減
6) 全国予選激励会相当補助	30	30	±0	相当額30,000円を現金で補助
7) 高校生交流試合支援	50	30	-20	春合宿・県内外高校生との交流
8) 会議・親睦行事等の開催	100	64	-36	蹴り初め、新年会、ゴルフコンペ等
9) 慶弔費	50	234	+184	葬儀6件、火事見舞い1件
10) 事務費	50	111	+61	諸行事の通知郵送料を含む
11) 80周年記念事業準備	50	0	-50	別途、実行委員会会計を設置
12) 東西対抗出場旅費助成	0	30	+30	規定旅費との差額分を助成
13) 高校部員活動費支援	200	250	+50	会瀬グラウンド使用料を追加助成
14) 中学部員活動費支援	150	150	±0	
15) 予備費	60	50	-10	会瀬グラウンド倉庫設置負担金
計	1,200	1,437	+237	

【収入の部】

（単位：円）

	年会費（納入者）		広告料（納入者）		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和6年度予算	700,000	110人	250,000	15件	950,000
〃 決算	526,000	92人	230,000	16件	(79.6%) 756,000

※上記以外に、父母会から次期周年事業協力金として11,000千円を受領した。

2 令和7年度 事業計画及び予算

- (1) 部員の活動支援 (5) OB間の親睦行事の実施
 (2) 附属中ラグビー部の活動再開に向けて (6) 年会費等の納付拡大
 (3) ※若手OB・OGの参画拡大 (7) 創部80周年記念事業の成功に向けて
 (4) ※事務局体制の再整備

【支出の部】

(単位：千円)

	R 6 決算	R 7 予算	内 容
1) 学年幹事会	43	50	8/30 開催
2) OB会報発行	217	220	10月に第28号を発行予定
3) 大会参加への資金援助	135	135	30,000×4大会+プログラム協賛金
4) 夏合宿への資金援助	70	50	高校生のみ(附属中は休部中)
5) 夏合宿へのOB派遣補助	23	30	
6) 全国大会予選激励会	30	30	R4～6は相当額を現金で補助
7) 高校生交流試合支援	30	30	春合宿(兼)県内外との交流試合
8) 会議・親睦行事等の開催	64	70	蹴初め、新年会等
9) 慶弔費	234	100	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	111	100	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 東西対抗出場旅費助成	30	0	
12) 高校部員活動費支援	250	250	活動費等補助(含会瀬G使用料)
13) 中学部員活動費支援	150	0	休部中
14) 予備費	50	35	
計	1,437	1,100	前年度決算比 -337千円

【収入の部】

(単位：円)

	年会費(納入者)		広告料(納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和2年度決算	457,000	85人	208,000	14件	665,000
令和3年度決算	399,500	76人	214,000	14件	613,500
令和4年度決算	510,000	93人	218,000	14件	728,000
令和5年度決算	548,000	103人	232,000	14件	780,000
令和6年度決算	526,000	92人	230,000	16件	756,000
令和7年度予算	550,000	100人	250,000	17件	800,000 (前年度決算比106%)

3 ラグビー部OB会の名称変更について

(1) 背景

ア 日立一高ラグビー部は、昭和21年秋の創部以来、800余人の卒業生を輩出してきた。現在OB会名簿に登録されているのは男子部員のほか、女子マネージャー75人や特別会員(指導者・顧問等)20人、賛助会員(保護者OB・OG)34人を含めた856人である。

イ 現代社会はジェンダーレスであり、ダイバーシティ(多様性)の概念が広く世に浸透する中、部員たちを支え、ともに戦ってきた女子マネージャーや、部員たちが卒業した後も賛助会員としてラグビー部を支援していただいている賛助会員の方々を含めて、日立一高ラグビー部を取り巻くすべての人々が、幅広く関わり合いながら支援し協調していくことで、誰もが参加しやすい組織となっていくことが求められている。

2 新名称(案) ※一例として

- (1) 日立一高ラグビー部OB・OG会 (3) 日立一高ラグビー倶楽部
(2) 日立一高ラグビー部OB・OG倶楽部 (4) 日立一高ラグビー白亜会

○ 附属中ラグビー部の活動状況

- ・昨年度、公式試合は「茨城中学合同チーム」として出場し、関東大会にも出場しました。
- ・令和7年度(2025年度)、中学ラグビー部は部員0名のため活動休止となり、休部となっています。

【実績】令和6年

2月	千葉 茨城県中学生ジュニアラグビー新人交流大会 出場
3月	東日本U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会 *選抜選手が出場
4月	関東中学校ラグビーフットボール大会千葉・茨城予選 *茨城中学合同 0-85 茗溪学園中学校

5月	関東中学校ラグビーフットボール大会千葉・茨城大会決勝 兼 千葉 茨城県中学校ラグビーフットボール春季大会（交流戦） 出場
6月	関東中学校ラグビーフットボール大会に茨城県2位として出場 *茨城中学合同 19-22 明八桐電連合 *茨城中学合同 12-17 城西川越中学校
7月	全国ジュニアラグビー大会 中学校千葉・茨城地区予選 *選抜選手が出場 第30回全国ジュニア大会関東甲信越地区・中学校予選/交流戦 *選抜選手が出場
9月	東日本中学校ラグビーフットボール大会 千葉・茨城大会 出場 *茨城中学合同は流通経済大学付属柏中学校と対戦し、敗退
10月	東日本中学校ラグビーフットボール大会 千葉・茨城大会 兼 千葉 茨城県中学校ラグビーフットボール秋季大会（交流戦） 出場 *茨城中学合同は秋季大会に出場

○ 第20回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第20回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

1. 日 時 11月29日(土) 午前8時00分 集合
8時40分 スタート
2. 場 所 茨城パシフィックカントリー倶楽部
北茨城市関南町神岡上小沢1113
Tel: 0293-46-4111
3. 費 用 プレイ費11,000円+商品代1,000円

【ゴルフコンペ幹事: 笠井知洋 Tel: 080-5057-3065
E-mail: kasai410531@au.com】



【昨年は大雨のため中止でしたので、懐かしい
第1回コンペ（2005.10月）の写真をどうぞ】

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

令和7年度全国大会県予選の組合せが下記のとおり決まり、今年も15人ちょうどの少数精鋭ではありますが、単独チームとして出場します。伝統の黒ジャージを着た日立一高を皆んなで応援しましょう。

詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブック等のSNSをご覧ください。

1回戦	10月18日(土) 11:45 vs 勝田工高	堀原運動公園
2回戦	10月26日(日) 10:30 vs 茗溪学園	堀原運動公園
準決勝	11月 3日(月・文化の日)	堀原運動公園
決 勝	11月23日(日・勤労感謝の日)	ケーズデンキスタジアム

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化を図るため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。（次頁参照）
広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は12人（13件）のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計220,000円のご協力をいただくことができました。
ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。
OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。

日立一高ラグビー部OB・OG会報 第28号 (令和7年10月10日発行)

発行責任者: 幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)

問合せ先: 〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

愛犬と楽しむキャンプ場

Out Tail Dog Camp

松崎 暢之 (昭和63年度 第41回卒)

〒294-0004 千葉県館山市水岡263番地

https://dogcamp.jp

大北産業株式会社

代表取締役社長 樋本 鶴雄 (平成6年度卒)

専務取締役 樋本 吉和 (平成8年度卒)

〒319-1557 北茨城市中郷町松井1888番地

電話: 0293-42-0714

尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1071番地

電話: 0294-33-0359

株式会社トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

日立一高ラグビー部OB・OG会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか

(昭和50年度 第28回卒)

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

株式会社オカベ

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

〒153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001

電話: 03-6277-5309

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店

橋 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話: 0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOビル2階

電話: 0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 西野 孝

(ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！

(事業所名はアイウエオ順)

